

平成 29 年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「家庭総合（自立・共生・創造）」（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・2 年生で学習した知識や技術を実生活に活かせるように実技を中心とした授業を行い、実習班の人間関係を含め、生活をする上で人（家族や地域）と協力することが大切であり、そのためにコミュニケーションが欠かせないことを体験的に学習する。
- ・生きるために必要不可欠な衣生活や食生活についての知識や技術を実践を交えて学習する。

2 学習の到達目標

- ・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・学習した知識や技術を活用し、家族や家庭の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
- ・生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	衣生活・食生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	衣生活・食生活について生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を見に付けている。	衣生活・食生活について関する基礎的・基本的な技術を見に付けている。	衣生活・食生活について関する基礎的・基本的な知識を見に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、調理計画、 実習記録表 レポート 自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、調理計画、 実習記録表 レポート 自己評価・相互評価 定期考査の結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 製作品 実技テストの結果 自己評価・相互評価 定期考査の結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 調理計画、製作計画、 実習記録表 レポート 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第7章衣生活をつくる	(始めに)3年生の家庭科の学び方 1 被服をつくる *布の扱い方 *糸・針・まち針の扱い方・使い方 *ミシンの扱い方・使い方 *アイロンの扱い方・使い方 *個人の作業と班としての協力のあり方	○	○	○	○	a:被服製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:課題を見だし、その解決を目指して考え、表現している。 c:被服製作の技術を身に付けている。 d:学習内容について、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 プリント 実習記録表 実技テスト 製作品 レポート 定期考査
	第6章食生活をつくる	1 食生活について考える 2 食品の安全と衛生 3 調理の基礎 (グループ実習のため班としての協力のあり方) (1 学期後半～3 学期に調理実習を随時実施)	○	○	○	○	a:食事と健康、安全と環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について課題を見だし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な技術を調理実習を通して身に付けている。 d:健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	

